

戸田康之さん『サンタクロース』（3月7日配信）

こんにちは！戸田です。よろしく。
今日のお話は、クリスマスのサンタクロースです。

今、私はろう学校で働いています。幼稚部の担任で、いつも子どもたちと話をしています。

12月になると毎年子どもたちとよく話すのが、クリスマスのこと。12月24日、25日が待ち遠しいという話してくるのでおもしろいんです。サンタさんからこんなプレゼントが欲しいな—なんていう話もあります。車や電車のおもちゃとかゲームが欲しい、とか、サンタさんが家に来て、朝起きるとプレゼントが置いてあるんだ、というような話をしています。

そんな話の中で、サンタクロースと言えばふつうは赤ですよ。赤い帽子に赤い服、大きな袋を持ってトナカイのそりに乗ってやってきて、夜に良い子の家、よく食べ、パパやママの言うことをよく聞く良い子のところに赤いサンタさんがプレゼントを置いていく。じゃあ悪い子のところには赤いサンタは来る？と子どもに聞かれたので、「悪い子のところには赤いサンタさんは来ないよ、黒いサンタが来るんだよ」と言うと、子どもたちは驚いていました。食べ物の好き嫌いが多かったり、乱暴な子やわがままな子のところには、赤じゃなくて黒いサンタが、しかもトナカイのそりじゃなくていかつい車を吹かしてやって来て、「こいつがいつもわがままなヤツだな？ママや先生の言うことも全然聞かないし、野菜も食べない。」と真っ黒いプレゼントを置いていきます。かわいらしい包装ではなく、真っ黒の箱に黒いリボンのプレゼントを置いていくんだと話しました。子どもたちはびっくりです。「その中身は何だと思う？石だよ。おもちゃなんて入ってないんだよ。だから、野菜もちゃんと食べて、パパやママの言うことをよく聞かなきゃだめだよ」と言うと子どもたちは真剣に聞いていて、そんな話を冗談で子どもたちに話していたんです。

その時に別の子どもが「違うよ。黄色いサンタがいるんだよ」と言い出しました。プレゼントは何色なのか聞くと、黄色だと言います。じゃあ中身は何なのか聞いてみると、その答えに笑ってしまいました。何だと思いませんか？そのプレゼントの中身は…うんちだそうです。子どもらしい答えで笑ってしまいました。黄色いサンタを想像したんですね。他にもいろんな色のサンタの話が出てきて面白かったです。

サンタクロースにも子どもたちの中でさまざまな想像があってすばらしいなと思いました。